

## 第11回雁坂峠越え秩父往還143kmの旅人

2008. 9. 14~15

326番 川合伸二

なんとか雁坂峠越え秩父往還（第11回）をゴールできました。それを記します

はじめにプロフィール

- ・ 身長体重 1.73m 60kg、生まれて何年 じじい、ルックス 宇宙一のかawaii  
こちゃん
- ・ 走力（最近の成績） マラソン3:01:21（‘7つくば いつでも3は切れると思  
いつつ10年も失速してばかり）、ハーフ79’37（‘7はだの ひさびさ80切）、  
6年甲州街道31°11’（4回目でやっとゴール） ハーフ超えるとダメ
- ・ 走フォーム 世界一華麗&自在（最近は何年で“とってもアフリカン”で走っても体が  
浮かない）
- ・ 今シーズンに向けた練習 サボり気味

準備や目標は

- ・ くつ 黄アシックス27.5cm220g（ソールが薄くなく厚くない軽め欲しくネ  
ットショッピング）、シャツ 橙半袖Tシャツ（ランシャツは止めた）、パンツ 黄  
ランパン 帽子サングラスは、やめ（バテてくると気になるので）
- ・ iPod（12時間しかもたんか）
- ・ バッグ ヒップバッグ（ヒップでなく腹側で走る）中身は
  - ・ ボトル500cc（荷物のメイン、ボトル用のウエストバッグ買ったがいまいちで  
ヒップバッグのチャック開けっ放しでボトル出し入れ&揺れない調子よし）
  - ・ 懐中電灯（小型LED代えボタン電池も）、合羽代わりのポリ袋、お金、パスモ（こ  
れで電車で帰れる保険）、ビタミンミネラル剤、地図、ティッシュ  
（しっかりした防寒具・雨具等注意書きがありましたが荷物は軽いのにこしたことが  
ないのでメンゴ。つまり重さの大半がボトルの水分）
- ・ 目標 18時間切で6位以内（自称実りき者で以前の大会記録参考に、でも上位組み  
がたくさんエントリーしているので順位はむりか）

山終えるまで7°20’残り91km10°（6分/km位）さて結果は

申し込んでわくわく数ヶ月その時が来た。出場理由は甲州街道が中止、こちらに転戦（両  
方出る亡者もいるようだが。いつもいっしょに出場してくれる相棒に出場打診最近あまり  
走ってないとのことで断られ一人旅に）前日16時前に甲府に到着いちおう観光というこ  
とですぐ近くの城跡へ、写真を撮る（カメラ使用はこれだけだった）そして食堂に入るカ  
ツ丼らしき地元のネーミングの物を食べる、客自分だけ（朝早いのを考えると16時夕食  
でOK）宿は説明会のあるフジオ（レストランのレジがフロントだった）部屋に入るとベ  
ッド？ご注文は和室だったのに、広くて中々だったので、まっいいか。

17時説明会、ん～溢れている。初めての方いますか、ハイで1番前の端で聞くことに。事前に地図・注意箇所は確認したので予習良し。だが一本道でも迷う方なので不安でいっぱい。選手紹介あり、がロングで知っているのは関谷さんくらい、しかし“藤原定子”名前に見覚えあり

部屋に戻り一人で明日の支度をしているとちょっと気合が下がってきた、やはり連れがいないと盛り上がらない。まあ早く寝ましょ

当日荷物を預けてスタートを待っていると雨、気象庁話が違うでないの、山が濡れませんように。みんなで記念撮影。さて

スタート、ペースはどうする、足と気の向くまま、ひとりおじさんがスト先行その2番手、みんな抑えてるなー、数百mぼちぼち抜かれ始める、10km位か集団ができて走りづらい、しかし自分が遅れだし単走に。雨あつ最初だけだった。15km位か、あれストいったおじさんか、だいぶタレテル完走大丈夫かな。ロング大会で思うのだが練習で30kmが長い距離なのだから大会で15km位でバテだしてね当たり前、だから序盤でバテても早すぎると落胆することはないな。計画では20kmまでにコンビニ1回寄ろうかと思っていたが目に付かず寄らなかった。20kmの室伏のトンネル抜けたところが道の駅だったのか横目で見ながらパスここからはだいぶ田舎。それにしても上りが続くので既完走ゼッケンの方に分かっているのに“上り続きますか”聞いてしまった。広瀬近くでスタッフが袋のアミノバイタルくれてスッパ（お断りしたが再度進められ）やっ

CP1到着、時間のメモは時計を押す（メモ・ペンも軽量化のため持たず）が、1回目から忘れる。適当に給食給水、出発、あつ時計押さなきや。山の前に水分水分自販機でスポーツドリンクあれ水買っちゃった持っていたボトルと2本持って山、やだ1本にしよう水を捨てよう半分お腹のなかに。湖を右折スタッフがいないければ直進してたな。これから問題の山か、まず林道に出るそれだけでも他ランナーいて迷わなかったがあぶない。3km位で狭い山道にそこからは“怖がり”としては閉口なんだこりゃレースの場かと疑うような恐怖の連続。沢は崖、右斜面の崖ばかり足元はズルッ、枝は左足で拾い上げそれが右足に引っかかりまるで倒そうとしているとしか思えない。必死。コースアウトしなかったのは目印に木にリボンが吊る下げてったから。しかしびびりで気合はいりたまにランナーを抜くこれならマイヨアポアルージュか、しかし130番に抜かれ山岳賞（賞は無いよ）はダメか。やっ

CP2に着く、あれ前日紹介のディフェンディングチャンプがまだいた、給食給水をすませボトルにジュース入れる（一人1ℓかかったら160ℓあの山に上げなきやいけないな貰い過ぎ・・・失礼）エイドにパンがあるとありがたいのですが（パンは高カロリー）予習だと下りの方が距離も長いし下りとは思えない程時間かかるので大変、その通りだった。同じ等高線から下りになる所は中々現れなかった。やっ

て自転車組みに合うスタッフ？どうやってここに？。最後の方の右崖の林、道が見えない斜面だけ途中で止まってしまう恐怖で固まりそう、なんとか道らしき所をトレースこれが続くなんちゅこっちゃ。下りはこの調子なので数人に抜かれた。i P o dはたたかえキャシャーン、摩訶不思議アドベンチャー、てくてく旅の曲等112曲絶好調。何とか転げ落ちずコースアウトせず140号に出てきた。2名前にいる、あれ離されるそれなりに走っているのにバテたか、川で前見えなく左折するのか迷う、まっすぐ行ったらすぐ

CP3でした。説明で大滝でリタイヤしだすと言っていたが、素人はここまでで力出し切りバテ&暑さ&残り90kmで電車乗りやすいだろうなと思っていた。走り出したら遅・・・素人は自分だったか。山終わり下りかと思いきやそれなりの上り、でも走りやすい、しかしそこそこ暑いどこかの温度計27℃だった。それにしても遅。いつもならこのへんでへろへろになり歩き出すところが粘り強い。2年前甲州街道で150km（大垂水峠）まで走れた（歩かなかった）経験が大きいか。関跡がこれかと通り過ぎる（いつも回りはまったく分らないほうで）秩父湖が見えてきた、サイドに歩道が別にあるのでそこ走ろうか迷っていると後ろから来たランナーにそこ走らなくてよいよ、その方のおかげで注意事項のところ迷わず抜けられサンキュウ。川と並走（帰ってきて荒川と知る）。

CP4に着く。電車には乗ってないようだ&秩父に行く気あり。だんだんとこの大会は山の恐怖で一生出ることにはもう無いだろう、だから今回ゴールしないと悔いが残ると思いがゴールだけは是が非でもという気になってきた。予習で川又ー33kmー秩父ー40kmー高麗ー18kmー川越でインプット。秩父まで区間半分位来たか。それにしても右側の山山山、山深いところだ。全体の間を過ぎ秩父に近づく右に見覚えある山、武甲山か（春に芝桜しゃんを観に来た）これを回り込めば299号か、街ぼくなり歩くことなく

CP5に着く。まだ食べられるいつもなら味のする水分も取れないのに。出発してすぐ右折これで299号。ラスト60km弱。正丸峠で暗くなる予定だったが遅いのでその前に暗くなる。それにしても山から下りれば下り基調と思っていたが上りの多いことか。天気予報では曇りで多少雨降るかという感じだったがなんと中秋の名月秩父山で月が走りを見守ってくれていた。目のピント合っていないから4倍の大きさのビッグムーンである。正丸トンネルまでの距離標識が200mおきにあるの発見（左側に車からだけ見えるように立っている）それを数えながら0.2kmづつカウントダウン、距離が分かるのは精神的にだいぶ楽だ。正丸まで困ったことが起きた自販機が無く水分が少しになってしまった。トンネル前右折したが車道と段差かなりあり訳分からんので後ろから来た方と一緒に走ることにした（ここは今回全員初コース）その方も水分切れだとか。暗闇を時折車が行過ぎてゆく、だから真ん中を走行するわけには行かなかった。そのうち藤原定子さんに抜かれた（雁坂？ではTOP別の方だったが抜いてきたね）。まずいどんな大会でも女TOPに勝つのをひとつの目標としている。単走になり黙々と上るが思ったより坂は急ではなかった、時間から距離を考えCP6を目指した。感じより少し早めに

CP6が現れたやっとな水分補給できた、まだ給食も何とかでき出発、残りマラソンだ、

上りが少し続き正丸峠に、お〜〜ここだ春にハイキング来てジンギスカンを食べたところは。ここから下りそれに車はほぼ通らない月も雲がかかったりしているが目が慣れてきて懐中電灯はいらない（電池切れた）ここでトラブル発生。こけた。路面に出っ張りがあった。一瞬がスローモーションのごとくこれはズズッと擦り剥くぞーと思いながらボタン“いてー”声を上げてしまった。心細くなり後ろから来た先ほども一緒になった方に付いて下ることにした。次のCPまで15kmですねとその方に話したが10kmの間違いでした（失礼）やっとトンネル出口に着きコース復帰、正丸駅によりトイレの水道で傷を洗いトイレと水分補給を済ませた懐中電灯の電池交換したが古くてダメだった。春ここに来たとき前の道を走るのだなと思ったが今現実には走っていてうれしい。ほどなく

CP7に着いた10kmと15km以上のCP間の違いはやはり大きい。ここでも給食でき、まだまだという感じ、しかし出発後コースにアクセントがなく少し精神的にまいってきた。iPodがとうとう電池切れここでエキサイトさせられなげない所なのに残念15時間良く持った。このコースどう見ても下りより上りが多く感じるのは疲労のせいかな？24時間TVでグーグググググのお姉さんが110km走ったらしいのでそれより短い距離でリタイアする訳には行かないと思いつつ走っていた。走っている場所がまったく分からないので8分/kmと思い距離をこなしたが中々進まない、残りは練習で走る距離位なのだがそれがつらい。やっとこ

CP8に着く。注文した飲み物が茶しゃんだった、とうとう味のする飲み物もダメ状態に。ラスト18km目標には全然だが20時間は切れそう。走り出して少しの所で場所が分かれば楽かなと思いい地図を持って走ることにした、しかしこれが裏目に出た、途中から9分/kmでも20時間切と思っていたが足は進んでなく現在地と地図で思っていたと位置が数kmズレていた、ハッキリ分かったところでスピードアップしたが中々最後の鉄道とクロスする所にこなくペースダウン、やっとそこに来たら始めのほうで女トップだった方に抜かれ、くねくね曲がり

ゴール。ハッピーバースデー9月15日生まれなので、バースデー前ぎりでゴール予定だったが20時間と3分かかってしまった。まっいいか

シャワーを浴び、1時間位仮眠した。せつかく川越来たのだから火の見櫓みたいなのを見に行こうかなと思っていたが気持ちに余裕無く始発で速攻で帰った。その後全身筋肉痛で2〜3日立ち上がるのに超なんぎした

・今回の旅で良いところ悪いところ

- ・記録がダメ（まっ実りきか、歩かないのにTOPに3時間差付けられるとはトホホ）
- ・歩かなかった。悲壮感漂う感じにならなかった。甲州街道の経験が効いたか
- ・リタイアを考えなかった。山下りてバテたのに91kmもよくダラダラ走れたな（エイドが8箇所あったのは大きい）
- ・装備が良かった。Tシャツの濡れが気になったり、お腹が痛くなったり、荷物がゆさゆさしたりしなかった

- ・死ななかつた
- ・左膝痛（以前少し痛い時があったが突如という感じ、序盤に痛み出し、まばらに痛く終盤はうまく着地しないとダメ状態。記録に関係ないと思っていたが後日練習で痛み出ると減速大きい）

主催者から見て不良出場者であったかもしれんが、そのへんはビッグeyeルッキング。スタッフの皆さん、わくわくさせてもらってありがとう（けして走っているときはわくわくしてないが。遠足と同じかな）

♪この世はでっかい宝島♪

次はどんなアドベンチャーが待っているか楽しみダ！

記録（正確でないところも）

		スプリット	ラップ	km当り
CP1	33.3 km	3:30		6'18
CP2	42 km	5:18	1:48	12'26
CP3	52 km	6:59	1:41	10'10
CP4	67.5 km	8:49	1:49	7'05
CP5	85 km	11:07	2:17	7'51
CP6	99.3 km	13:22	2:15	9'27
CP7	110.2 km	15:00	1:38	9'03
CP8	124.6 km	17:05	2:04	8'39
ゴール	143 km	20:03	2:58	9'41